



B コマンド

この章では、B で始まる Cisco NX-OS イーサネット コマンドおよび仮想イーサネット コマンドについて説明します。

bandwidth (インターフェイス)

インターフェイスに継承帯域幅および受信帯域幅の値を設定するには、**bandwidth** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

bandwidth {*kbps* | **inherit** [*kbps*]}

no bandwidth {*kbps* | **inherit** [*kbps*]}

構文の説明

<i>kbps</i>	情報帯域幅 (キロビット/秒)。有効値は、1 ~ 10000000 です。
inherit	(任意) 帯域幅を親インターフェイスから継承することを指定します。

コマンド デフォルト

1000000 kbps

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード
サブインターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
5.0(3)N1(1)	レイヤ 3 インターフェイスのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

bandwidth コマンドは、現在の帯域幅だけを上位のプロトコルに通知する情報パラメータを設定します。このコマンドを使用してインターフェイスの実際の帯域幅を調整できません。

bandwidth inherit コマンドは、サブインターフェイスがメイン インターフェイスの帯域幅を継承する方法を制御します。

no bandwidth inherit コマンドを使用すると、設定済みの帯域幅に関係なく、すべてのサブインターフェイスがメイン インターフェイスのデフォルトの帯域幅を継承ようになります。サブインターフェイスに帯域幅が設定されていない状態で **bandwidth inherit** コマンドを使用した場合、すべてのサブインターフェイスがメイン インターフェイスの現在の帯域幅を継承します。メイン インターフェイスに新しい帯域幅を設定すると、すべてのサブインターフェイスでその新しい値が使用されます。

サブインターフェイスに帯域幅を設定せずに、メイン インターフェイスに **bandwidth inherit** コマンドを設定した場合、サブインターフェイスは指定された帯域幅を継承します。

いずれの場合も、インターフェイスに明示的な帯域幅が設定されている場合、そのインターフェイスでは、帯域幅の継承設定が有効かどうかにかかわらず、その明示的な帯域幅が使用されます。

例

次に、レイヤ 2 インターフェイスの帯域幅を設定する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# bandwidth 1000
switch(config-if)#
```

次に、親ルーテッド インターフェイスの帯域幅を継承するようにサブインターフェイスを設定する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# bandwidth inherit 30000
switch(config-if)# interface ethernet 1/1.1
switch(config-subif)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interface	インターフェイス コンフィギュレーション情報を表示します。

beacon (インターフェイス)

インターフェイス ポートのビーコン LED を点灯するには、**beacon** コマンドを使用します。インターフェイスのビーコン LED を消灯するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

beacon

no beacon

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

インターフェイスに保留中のパケットがあるかどうかをチェックするビーコンが送信されていることを容易に識別するためのインターフェイス ポート LED を切り替えるには、**beacon** コマンドを使用します。

例

次に、特定のインターフェイスでロケータ ビーコン LED を点灯する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# beacon
```

次に、特定のインターフェイスでロケータ ビーコン LED を消灯する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no beacon
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interface	インターフェイスの設定情報を表示します。

bind (仮想イーサネット インターフェイス)

仮想イーサネット インターフェイスにインターフェイスをバインドするには、**bind** コマンドを使用します。インターフェイスのバインドを解除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

bind interface ethernet slot/port channel number

no bind interface ethernet slot/port channel number

構文の説明

interface ethernet	仮想イーサネット インターフェイスを、指定されたイーサネット インターフェイスにバインドすることを指定します。
<i>slot/port</i>	イーサネット インターフェイスのスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
channel	仮想イーサネット インターフェイスを、指定の EtherChannel インターフェイスにバインドすることを指定します。
<i>number</i>	EtherChannel 番号。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

仮想イーサネット インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、イーサネット インターフェイスに仮想イーサネット インターフェイス 10 をバインドする例を示します。

```
switch(config)# interface vethernet 10
switch(config-if)# bind interface ethernet 1/1 channel 101
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
interface vethernet	仮想イーサネット インターフェイスを設定します。
show interface ethernet	イーサネット インターフェイスに関する情報を表示します。
show interface vethernet	指定した仮想イーサネット インターフェイス、属性、およびステータスを表示します。
show running-config interface	インターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示します。

